

## 2021年度 事業報告書

特定非営利活動法人 国際インフラパートナーズ

### 1 事業の成果

#### (1) 経済技術協力事業

(イ) 外務省の日本NGO連携無償資金協力により2016年度以来継続しているミャンマー連邦共和国における沈下橋建設と技術移転事業の6年目として、サガイン地域において沈下橋1橋を建設し、供用した。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため日本人スタッフは入国できず、また2021年2月の政変によって現地への資材搬入・技術員派遣も困難になった中、雨期前に完成させることができた。住民の期待にこたえ、地域発展に寄与する事業であることは、現地住民だけで盛大な開通式を挙げてくれたことにもあらわれている。またワークショップの開催によって沈下橋建設技術を移転し、ミャンマー政府組織及び技術者だけで沈下橋の建設ができることを目指したが、開催できなかった。しかしながら、考え方を事例で解説した詳細なガイドライン（案）を作成したので、これまで建設した現実の沈下橋を見ながらガイドラインを読めば、ミャンマーの技術者自身で建設ができるものと期待される。

本事業は、アジア・オーストラレイシア道路技術協会総会においてベストプロジェクトとして表彰された。

(ロ) 2019年度契約のJICA草の根協力事業（パートナー型）として、ミャンマー「貧困地域における労働集約型簡易舗装工場の持続的な自立実施支援事業」（第2期）（2019・4～2022・4）を継続して実施し、第1期で作成した簡易舗装のマニュアルに続いて、アスファルトコンクリート、セメントコンクリート舗装のマニュアルを作成し、その普及、啓発をミャンマー側と相談しながら行う予定であったが、(イ)と同様に現地での業務を行うことができず、これらの項目は今後第3期で実施するとして、その準備を国内で行った。

#### (2) 技術交流等事業

来日技術者との交流を進めるほか、日本留学中博士クラス留学生からの日本の建設事業に対する意見を聴取して関係者に伝えた。また、日本の技術文献を英訳してオンデマンド出版することにより、日本発の情報発信を行った。さらに、土木学会と共同で沈下橋シンポジウムをハイブリッド型で開催し、相互協力を深めた。

#### (3) 相互理解・友好関係の増進事業

ウェブサイトの逐次更新、雑誌への投稿、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。アジア・オーストラレイシア道路技術協会ベストプロジェクトに応募して対外発信にも努めた。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【 24,138 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 開発途上国等支援のための経済技術協力等事業	(イ) 外務省の日本NGO連携無償資金協力によるサガイン地域における沈下橋建設工事の実施	2021.6 ～2022.5	ミャンマー サガイン地域	500 内日本5 ミャンマー490	業務参加者 と周辺住民	周辺住民2.4万人以上、間接的には地域人口533万人	23,705
	(ロ) JICA草の根協力事業パートナー型「ミャンマー国労働集約型簡易舗装実施支援事業」の実施	2021.6 ～2022.5	ミャンマー	100 内日本20、 ミャンマー80	業務参加者 と簡易舗装 マニュアル 対象地域 住民	1,500万人 (人口の1/4)	
(2) 同、技術交流等事業	来日技術者との交流、意見交換、シンポジウムの開催	2021.12 ～2022.6	東京	10	業務参加者 と来日技術者・ シンポジウム 参加者	約300人	433
(3) 同、相互理解・友好関係の増進事業	ウェブサイトの逐次更新、雑誌への投稿、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。	2021.7 ～2022.6	東京	5	国内及び 国外	約10,000人	0(直営)

(2) その他の事業      その他の事業は行っていません。

以上